

神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会		
開催日時	令和8年3月10日(火) 15時00分～16時30分		
開催場所	本校会議室		
(役職名) 出席者	岡本 秀伸(能見台一丁目自治会長) 川出 道紀(関東学院大学 事務局次長) 末松 隆一郎(横浜市立さわの里小学校長) 福元 摩湖(神奈川大学事務局次長) 桃井 貴裕(本校PTA会長) 坪内 幸子(横浜氷取沢高等学校長)		
次回開催予定日	令和8年7月上旬		
問合せ先	神奈川県立横浜氷取沢高等学校 副校長 坂本 電話：045-772-0606 FAX：045-776-2468 メール y-hitorizawa-h@pen-kanagawa.ed.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録 ・ 議事概要 	議事概要とした理由	
会議経過	(協議) ・生徒指導・支援での難しい対応や合理的配慮の多様性が増え、努力をいただいている。今後も情報共有、蓄積と丁寧な対応をお願いしたい。 ・家庭環境やコロナ以降、生徒のコミュニケーション能力の不足や人間関係の希薄化が大学などでも課題になっている。 ・防災に係る訓練や学習も多様化している。好事例を参考に地域との連携も進めていくことが望ましい。 ・ICTを利用した健康観察や心の相談なども小学校では行われている。日頃の観察や早期の応談が重要である。 ・国際交流機会は直接交流参加以外にも広げる方向で工夫をすることが望ましい。ホームステイなど限られた機会だけでなく、合宿形式の導入予定とのことで、期待したい。 ・国際交流を特徴としているが、もう少し外部に対してもアピールをして、地域の理解や中学生、保護者への広報も行うとよい。 ・学校の動きや特徴、中学生、保護者、地域への周知にホームページは有効で、適時適切に更新することが望ましい。動画や生徒作成コンテンツなどに期待したい。 ・地域貢献では、地域の行事、祭り、清掃などに多くの生徒が参加してくれている。小中学校との交流や授業参加などの取組も発展させてほしい。 ・進路選択において、進学では選抜方法の多様化や一般入試の難化もあったが、一定の成績を残せている。上級学校へ進学した後の見通しや目標、モチベーションが持てるような取組に期待したい。 ・全体会議後、学校評価部会、地域連携部会をそれぞれ開催。		
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8度 横浜氷取沢高等学校 学校教育評価(実施結果)案 ・ 学校保健のまとめ 		